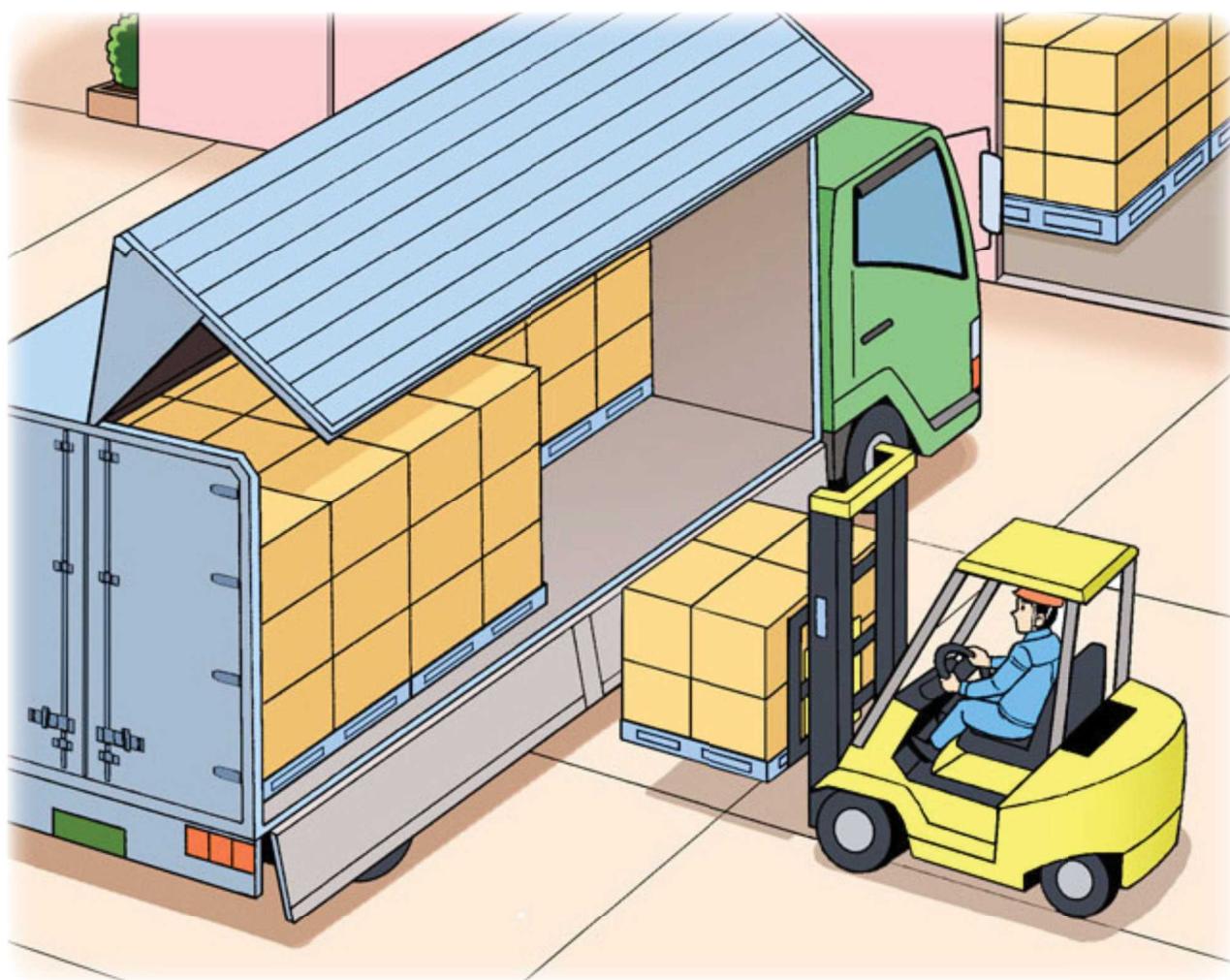


## 対応例 2

## パレット等の活用

- 手積み・手卸しによる荷役作業となっている場合は、荷主と調整して、パレットを用いた積み卸しとすること等により、荷役時間を削減することができます。
- また、ラック（カゴ台車等）等の輸送用機器や、折りたたみコンテナ、通い箱等の輸送用容器の活用によっても、同様の効果を得ることができます。
- 荷主にとっては、構内作業員の作業時間短縮や、荷受けバースの効率的な運用につながります。
- 導入に当たっては、パレット等の輸送用機器にかかるイニシャルコストや、導入後の管理コスト等について関係者間で費用分担を検討することがポイントになります。



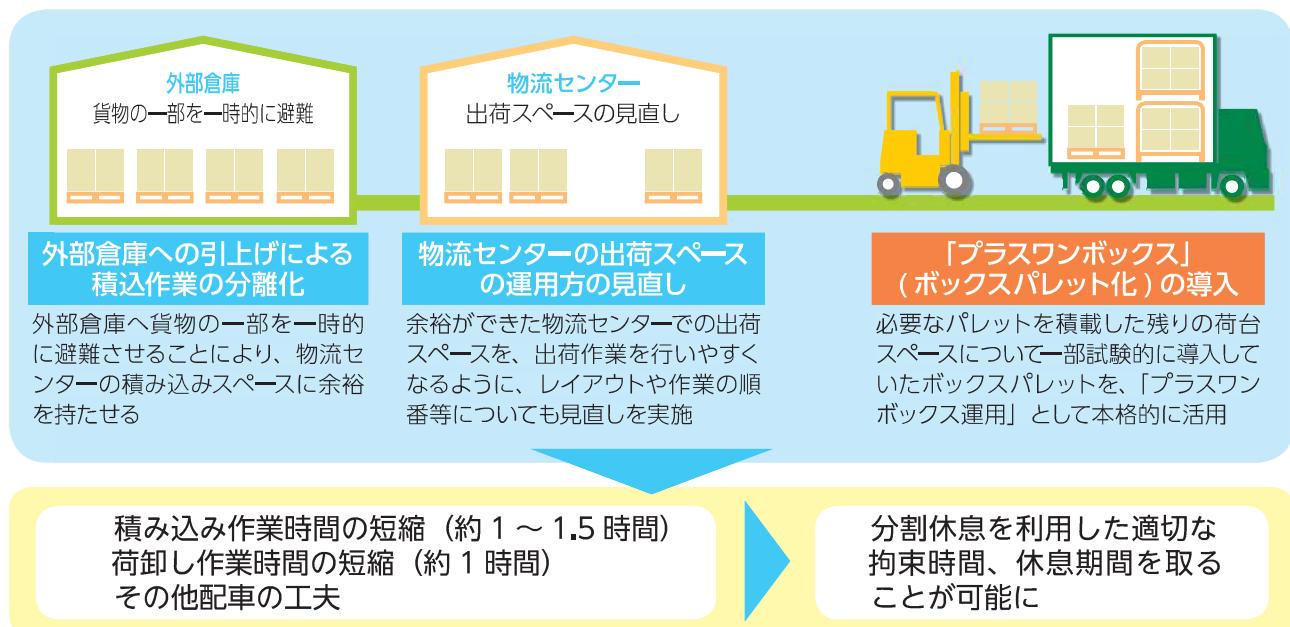
## 参考事例① 荷待ち時間の削減等関係者間の協力による拘束時間短縮

静岡県

事例集 96p

### 成功のポイント

- ボックスパレットの利用について、荷主が協力的であった
- 出荷の順番を計画化、それに基づいて荷主側で出荷の荷揃え作業を行った



## 参考事例② パレット荷役による積込み作業時間の削減

岡山県

事例集 66p

### 成功のポイント

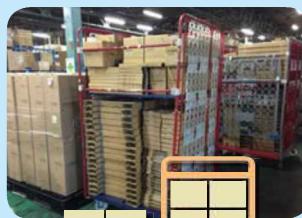
- バラ積み貨物をパレット化するにあたって、着荷主側も積載効率の低下、コストアップといった要因等を理解した上で実施した
- パレタイズをする側の発荷主の理解をいただけた

### Before

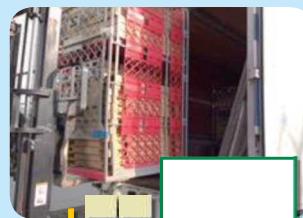


付属品のバラ積みイメージ

### After



平パレット・ロールボックス  
パレットによる荷揃え

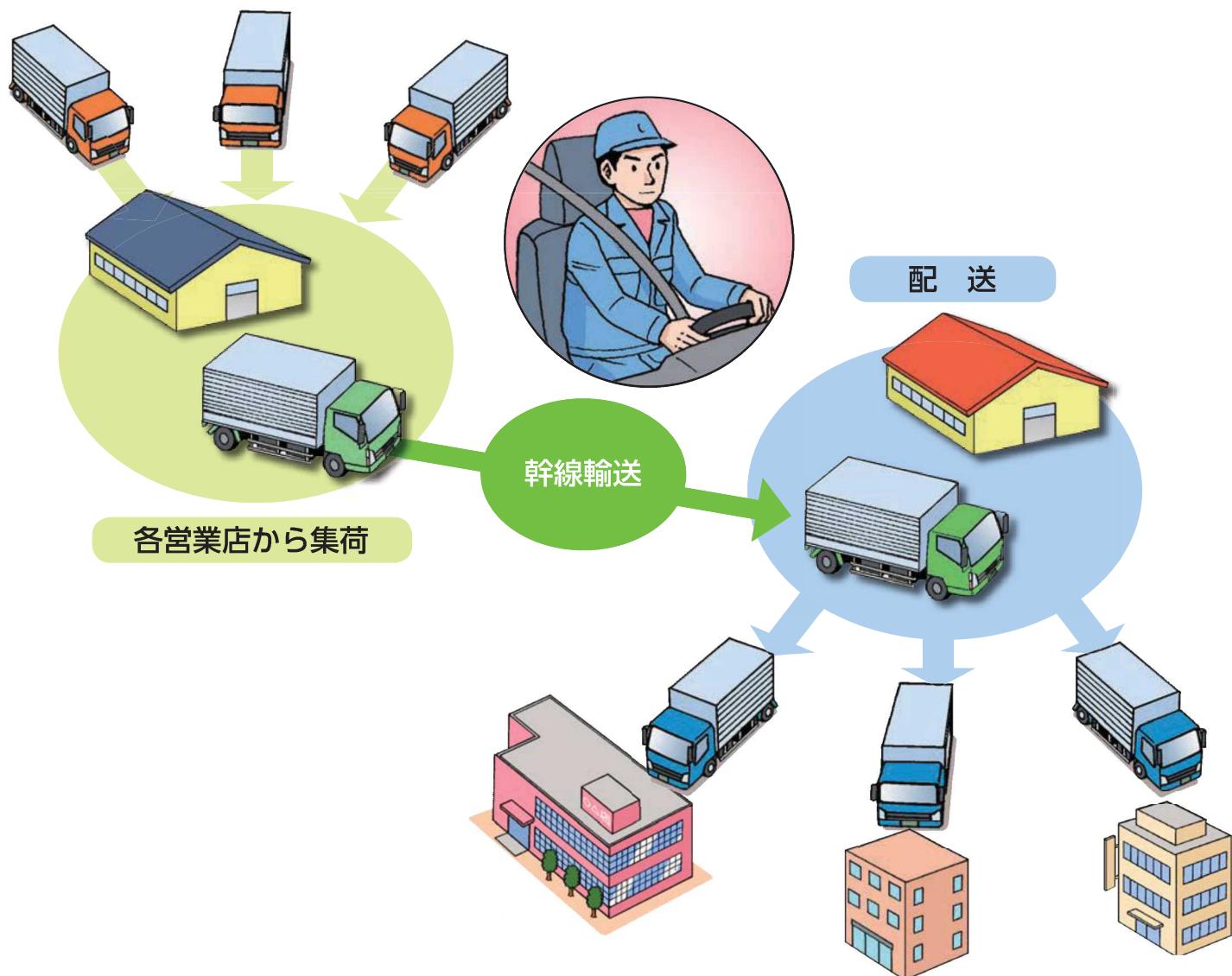


フォークリフトによる積込み

# 対応例 4

## 幹線輸送部分と集荷配送部分の分離

- 集荷から幹線輸送、配送までをすべて同じトラックドライバーが行っている場合では、集荷担当と幹線輸送担当を分離したり、幹線輸送担当と端末配送担当を分離したりすること等により、拘束時間を短縮することができます。
- 荷主にとっては、出入荷形態に大きな変更なく、トラックドライバーの拘束時間を短縮することができます。
- ただし導入に当たっては、トラックドライバーや傭車の確保のためのコストが発生する可能性があるので、関係者間での運賃に関する検討がポイントになります。



## 参考事例① 集荷と幹線輸送のドライバー分離による拘束時間削減

佐賀県

事例集 148p

### 成功のポイント

- 集荷担当ドライバー、長距離運行ドライバーを別々に設定し、集荷終了後、車両を引き継いで長距離を運行させた
- 運送事業者がマニュアルを整備し、工夫をこらした帳票を用意した

### Before



### After



## 参考事例② 巡回集荷を外部委託することで拘束時間を短縮

静岡県

事例集 34p

### 成功のポイント

- 条件が整わなければ取引を止めることも念頭に改善に取り組んだ
- 関東での複数箇所での巡回集荷を元請物流事業者に委託できた
- 荷主が運賃アップを受け入れてくれた。また、荷主もその運賃アップ分を顧客に対して負担交渉し、一部の顧客の理解を得た

### Before



### After



# 対応例 6

## 運転以外の作業部分の分離

- 一人のトラックドライバーの拘束時間が長くなっている場合には、他のトラックドライバーやトラックドライバー以外の作業員でもできる運転以外の附帯作業を分離することにより、拘束時間の短縮が可能となります。
- トラックドライバーが附帯作業まで行っている場合は、積み卸し作業や棚入れ・棚出し作業を荷主側で行ったり荷役作業員に分離したりすることにより、拘束時間の短縮が可能となります。
- 荷主にとっては、トラックドライバーの作業負荷が軽減されることで輸送サービスの安定性が担保されるメリットがあります。



## 参考事例① バース接車コントロール、専門積込作業員配置による積込時間の縮減 高知県

事例集 22p

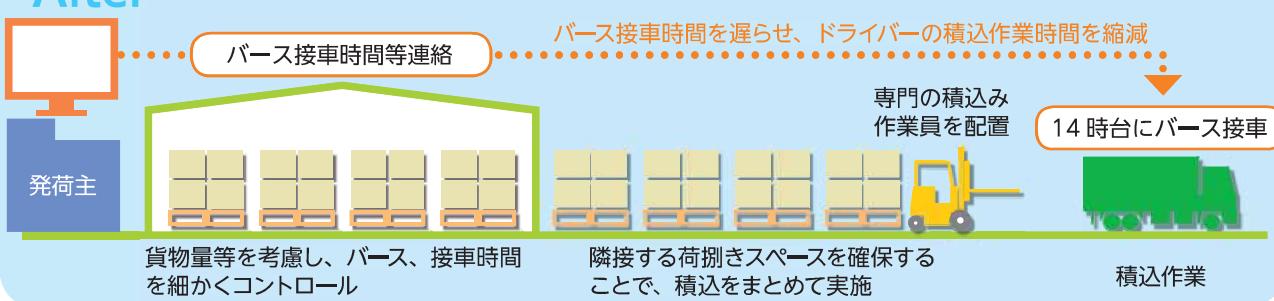
### 成功のポイント

- 発荷主における理解と協力体制が充実していた
- 発荷主と運送事業者における話し合いの場があり、円滑なコミュニケーションができていた

### Before



### After

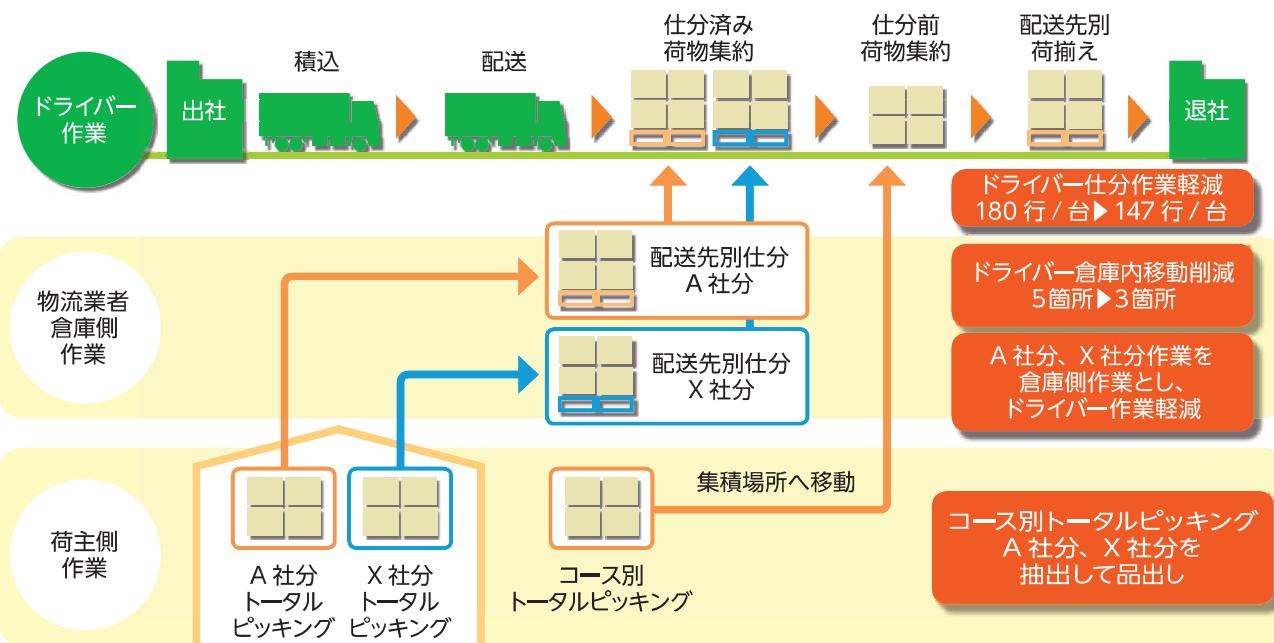


## 参考事例② 荷主と連携した作業分担変更によるドライバー作業軽減の事例 石川県

事例集 116p

### 成功のポイント

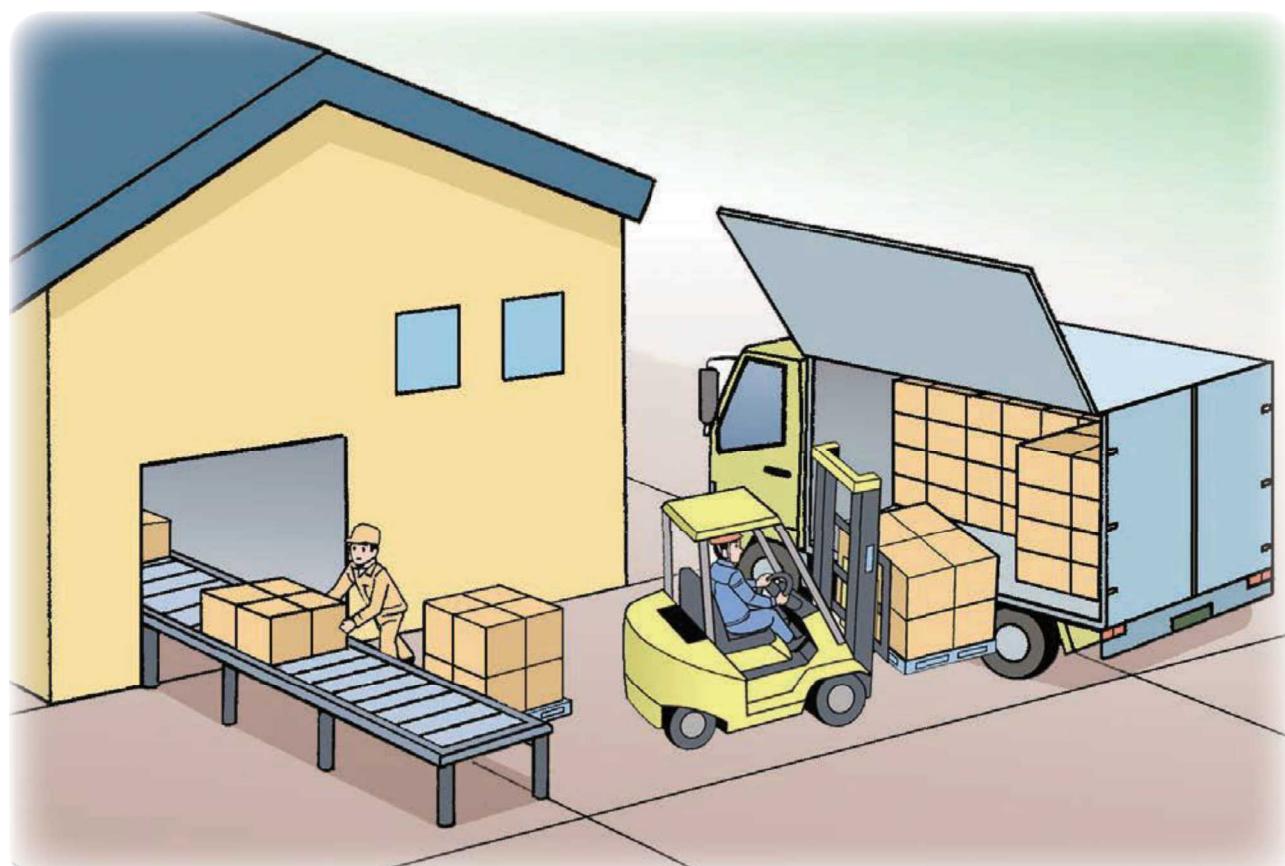
- 荷主側における顧客の要望の調整、庫内作業スケジュール変更、庫内作業方法の変更について、積極的な協力があった
- 物流事業者側では管理者を投入し、作業方法の変更をスムーズに行うべく、指導・支援を実施した



## 対応例 7

出荷に合わせた  
生産・荷造り等

- 出荷の際の荷姿やタイミングに関係なく、製造順に出荷スペースに積んでいたため、出荷時にトラック1台毎にピッキングや荷造りが必要となっていたものを、出荷順や出荷時の荷姿を考慮して製造順や荷置きを行うことにより、ピッキングや製品の無駄な移動を不要とし、積込み時間等を短縮することもできます。
- 荷揃えに当たって出荷のタイミングを意識することで、トラックが到着した時点で当日出荷する貨物の荷揃いが終わっていないという事態が回避でき、荷待ち時間の発生を防ぐことができます。
- 生産体制を見直すことによって、荷主にとっては製品在庫削減によるキャッシュフローの改善や、在庫管理費用の縮減などの効果があります。



## 参考事例① 集荷、荷纏め体制の見直しによる積込み時間の削減

石川県

事例集 204p

### 成功のポイント

- 荷主とトラック運送事業者で現場の問題点を確認・改善実施
- 荷主の協力により、出荷に合わせたモノ作りが実現
- 荷主とトラック運送事業者の、日ごろからの信頼関係

### Before

出荷にあわせた生産体制ではないためピッキング作業が多く、集荷品の取り纏めが複雑となり積み込み作業に時間を要していた



トラック1両あたりの  
積み込みにかかる時間

90分

### After

出荷にあわせた生産体制を確立、ピッキング作業の減少と車両にあわせた取り纏めにより積み込み作業時間が削減された



荷室の高さ

トラック1両あたりの  
積み込みにかかる時間

50分

積み込み時間が大幅に削減!

## 参考事例②

### 「朝積みの時間の前倒し」と 「荷物の区分け・整理する」ことによる荷積み時間削減

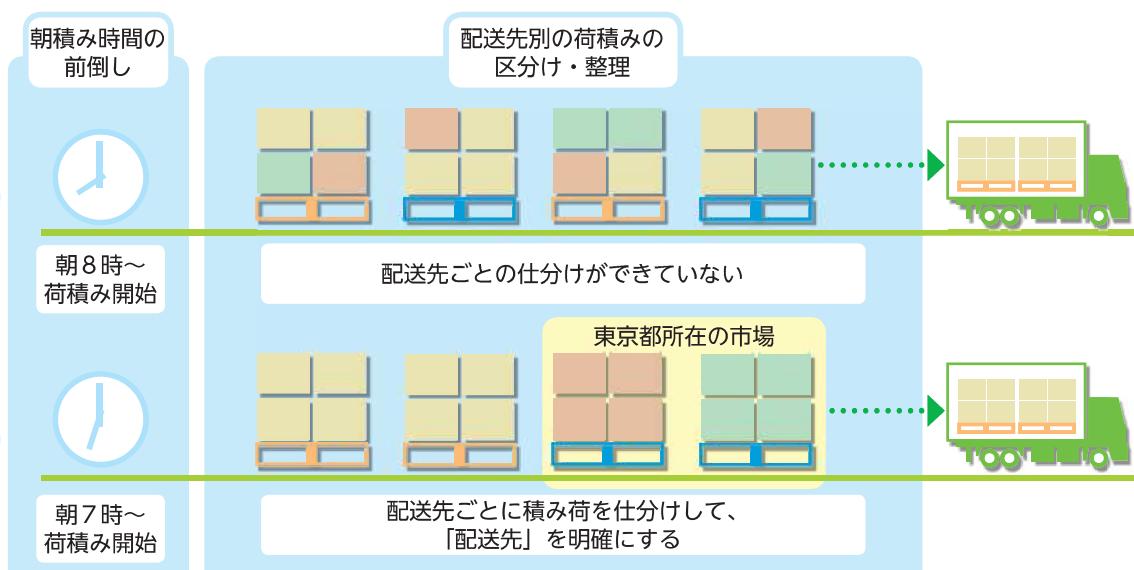
青森県

事例集 4p

### 成功のポイント

- 荷主から荷積み時間の前倒しについて協力が得られた
- 荷主は取引環境改善に対し積極的であり、配送先ごとの積み荷の仕分けを実施した
- 荷主、トラック運送事業者双方の歩み寄りによって、改善に向け様々な提案がなされるなど、良好な協力関係が築けた

### 現状



荷積み時間(最大) : 3.9 時間 ▶ 2.9 時間 1 時間の短縮

1日の拘束時間 : 17.7 時間 ▶ 15.5 時間 2.2 時間の短縮

# 対応例 8

## 荷主側の施設面の改善

対応例 1

対応例 2

対応例 3

対応例 4

対応例 5

対応例 6

対応例 7

対応例 8

対応例 9

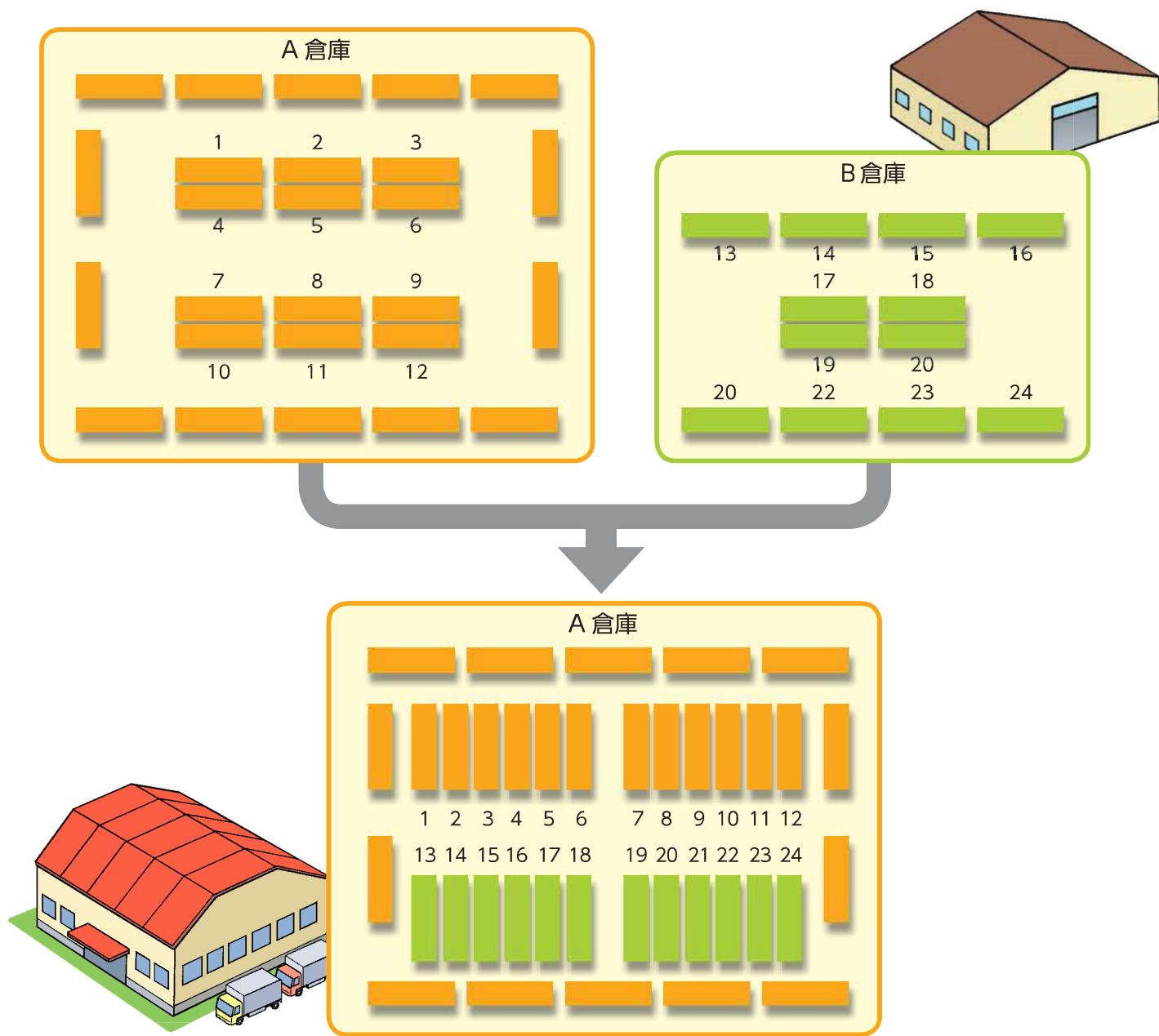
対応例 10

対応例 11

対応例 12

対応例 13

- 複数の倉庫を経由して集荷を行わなければならぬ場合や、倉庫のバース数が不足している場合には、倉庫を集約したり、バース数の多い倉庫を増設したりすることにより、荷待ち時間を削減できます。
- また、積み卸しのための作業場が狭い場合には、工場のレイアウト変更や外部倉庫、トラック運送事業者のスペースを活用することで、作業時間を削減することができます。
- 荷主にとっては構内における滞留車両の削減や倉入れ・倉出し作業の効率化などにつながります。



## 参考事例①

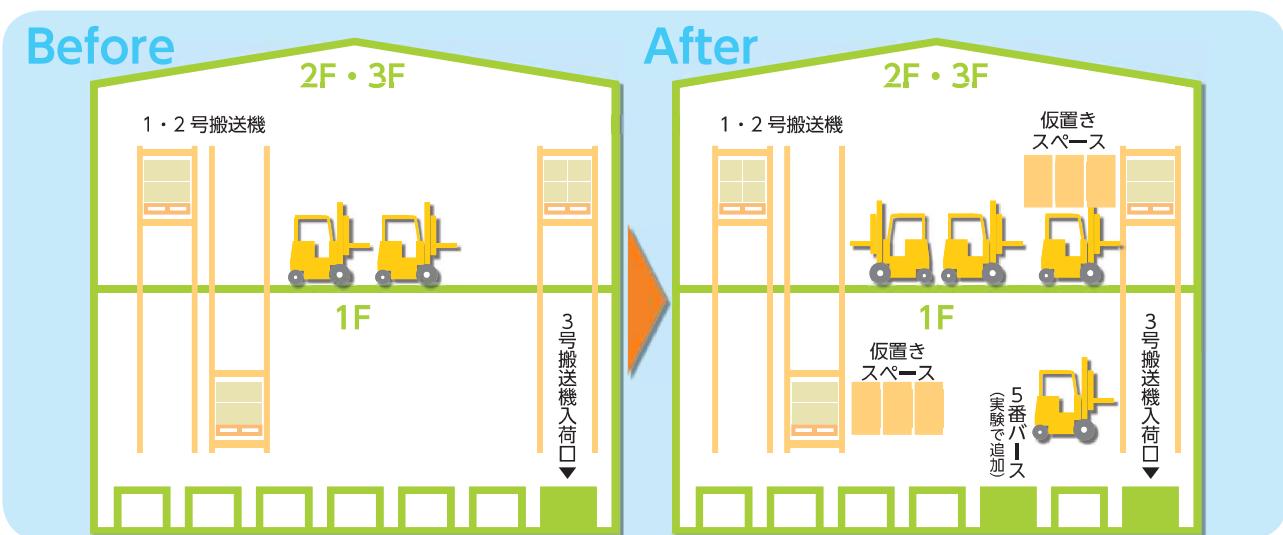
### 入荷専用バースと取り卸し体制の改善による荷待ちの削減

栃木県

事例集 108p

#### 成功のポイント

- 2・3階の搬送機からの取り卸し体制の強化により、詰まりによる搬送機の停止が改善された
- 搬送機近くに設けた仮置きスペースが、搬送機の搬送能力と、フォーク搬送能力との差を補うバッファとして機能した



## 参考事例②

### 自動仕分機導入による検品作業を削減、積込作業時間を縮減

島根県

事例集 214p

#### 成功のポイント

- 発荷主でのコンプライアンス意識の高まりから、トラックドライバーの作業時間の縮減に向けて、自動仕分機の導入の投資を行った

